



組合会報第9号

理事長年頭の挨拶

- 1 理事長年頭の挨拶
- 2 副理事長の挨拶
- 3 講習会・祝賀会
- 4 組合からのお知らせ

会議及び会合等報告欄

11.5	福島市技能功労者表彰式 雇用保険活用援助推進 研修会 中小企業監査研修会
11.7	福島市経営セミナー
11.11	中金会
11.18	青年部勉強会
11.28	福島県中央商工振興協 同組合総代会 (株)福島製作所協力会役 員会
12.4	雇用保険制度各種給付 金制度説明会
12.17	福島市ISO9001認証取得 実践講習会
12.19	青年部忘年会
12.26	第5回役員会
16.1.5	福島市民交歓会
16.1.7	関係機関・団体年始挨拶 回り

新しい年を迎え、あらためて新春のお喜びを申し上げます。
振り返ってみますと、昨年は国内外に於いて大きな出来事があった中
で、中国、台湾、香港、からのサーズが猛威を振るいパニックとなり
事態が沈静化するまで経済も混乱を招くほどでした。又米英によるイ
ラク戦争は、フセインの独裁政権の崩壊と共に、日本の防衛問題、自
衛隊の国際貢献派兵問題や政治が揺らぐ多くの課題を掲げながら国内
経済は不安定な状況下で推移し行財政改革も見え難いまま国民生活そ
のものが厳しさを増し、年金医療も税収不足から増税の方向へ会社経
営も雇用問題を含め厳しい時代に入って来た実感してある最中本日
1月9日自衛隊のイラク派遣が決定され国際貢献の名のもとに石油の
安定供給と有事の際の安保問題に絡め日本の国益を考えた策で避けて
通る事が出来なく政治的に日本は、ある意味で岐路に立たされている
と考えます。今年、アテネオリンピックが開催されますが国際社会
の平和を望む一人であります。

理事長として二年目の後半を迎え組合活動に於いて組合員の皆様の意
向に心える事が出来たかは疑問で、各社にとって有意義な事業活動
(講演会、講習会、情報、親睦)に努めて参ったつもりでおります
が、意欲的な組合員の皆様の参加を期待したい所であります。又この
度の衆議院議員選挙の際、組合員各社(60社程)を理事長になって
初めて一挙に訪問させて頂き、色々なお話を聞かせて頂く事が出来
ました 皆様の声を繁栄出来る様、微力ながら今年も精一杯組合事業に
取り組んで参りますので御支援、御指導の程、宜しく御願ひ致しま
す。

最後に昨年、佐々木スチール工業社長様が福島市技能功労賞を受賞な
されました事に敬意を表し、祝賀会の御礼も兼ね本年度組合員各社の
益々のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新春のご挨拶に代えさせて
頂きます。



副理事長の挨拶

副理事長 武石 功

あけましておめでとうございます。
昨年の初夢は、市内にモノレール交通を設置すること
でした。蓬萊・南向台・福島駅・清水地区・十六沼・
飯坂・茂庭ダムのコースで走らせ、清水地区に東京ド
ームのような多目的運動場、大きな駐車場そして公会
堂のような文化施設を作ることでした。これらを清水
地区の老人の主張で発表しました。今年は組合の夢で
した。先ず、アウトソーシングのことでした。以前に
県の補助事業で組合員と共に研究を重ねた共同受注事
業を株式会社にして運営し、独立採算制にして効率を
良くし、責任を明確にする方法のことでした。「喉元
過ぎれば熱さを忘れる」ではなくJA（農協）方式で運
営すれば良いと思いました。もう一つは4組合が合併す
る予定だったが、1組合がそのままになっているのを思い
出し、今年中に話が進展するように図れればと思った次第です。



副理事長 佐藤信雄

明けましておめでとうございます。正月は天気もよく
良い年を迎えられたことと思います。今年の景気は半
数の経営者が景気低迷が続くと云っております。アメ
リカは今年大統領選挙を控えているため景気を良くす
るでしょうから、日本も良くなるだろうと云っている
方もありますが、我々中小企業は厳しい状況下にあ
ります。円安、中国の元高を、我々製造業は希望して
いますがなかなか思うようには行きません。人件費の安
い所に仕事が流れる空洞化現象が起きており、我々中
小企業は大変困っております。人件費の安い国は、成
長すれば労務費が上がりコスト高になるので、技術の
ある日本が優位になるのは間違いないのですが、それ
までどうしたらよいか。我が社は技術を生かしてコス
ト削減に力を入れておりますが、現実にはなかなか難しいので、今、市で力を入れている「産
業連携推進グループ」を大いに活用し、大学からの知恵を取り入れコスト削減を実現したく
思っております。又、受注拡大を計らなくてはなりません、これについても県の「産業振興
センター」の活用及びインターネットを大いに利用し、受注の拡大を計りたいと思っております。
積極的に行動しなければ長く低迷している景気を乗り切るのは困難でしょう。本年も組
合全員で頑張りましょう。



平成15年度技術対策事業として、溶接技術講習会を開催致しました。

経営研究委員会

本講習会は、福島市との共催により実施致しました。

講師には、溶接の第一人者でありますお三方を講師にお迎えし、熱心にご指導頂き、受講者は真剣に勉強されました。

講師 酒井勝雄氏 佐藤和衛氏 浜津 修弘氏 の3名

ステンレス溶接学科講習

平成15年12月2・3・4日午後6時～組合会議室において
ステンレス溶接実技講習

平成15年12月6日土曜日 ポリテクセンターにおいて
受講者数15名

半自動溶接学科講習

平成15年12月9・10・11日午後6時～組合会議室において
半自動溶接実技講習

平成15年12月20日土曜日 ポリテクセンターにおいて
受講者数17名



平成15年度福島市技能功労者表彰佐々木貞次郎氏が受賞!

平成15年11月5日福島市長より受賞。受賞者を代表して謝辞を述べられました。

有限会社佐々木スチール工業代表取締役佐々木貞次郎氏は、製缶工として技能の練磨に励み、26歳の若さで佐々木鉄工所を創立、福島労働基準局長が認可するクレーン製造工場となり、現在では、吊り上げ荷重100トンまでの製造許可を取得した。鉄工一筋に48年間一生懸命仕事に打ち込み、荣誉に浴されました。誠におめでとうございます。

祝う会

平成15年12月16日火曜日 午後6時～ ホテル辰巳屋

出席者 総数60名

ご来賓の福島市商工観光部次長阿蘇様・顧問のたつお先生の奥様・望木昌彦先生の各位からご祝辞を頂き、9月に誕生致しました颯翔君・華楓ちゃん（双子）の初孫様から花束を贈られ拍手喝采を浴び、感激一入のご様子でした。星野前理事長の乾杯で宴会に入り、武石副理事長と齋藤女史によるマジックショーで盛り上がり、和やかな祝う会となりました。



組合からのお知らせ

平成16年新年会

と き 平成16年1月30日金曜日・午後6時
ところ 福島グリーンパレス
会 費 8,000円

多数ご参加下さる様ご案内致します。

新規加入組合員をご紹介ください。 組合員拡大委員会

当組合に加入して頂ける事業者について組合員拡大委員会を中心に促進方展開しております。

組合事業に対する要望等お寄せください。

平成16年度事業計画に積極的なご意見・ご要望を受け付けます。何卒よろしくお願い申し上げます。 (事務局)

青年部活動報告

1 1月6日(木) 講習会 「生活習慣病について」

講師 かしの木内科クリニック 石井先生

場所 伊達町 かしの木内科クリニックにて

石井先生は内科の診療をされていますが主に循環器系を専門に研究される医師です。当日はある青年部会員が、急きょ診察を受けてからのスタートとなりました。スライドを使い診療実例と統計結果を掲げながらの糖尿病にならない生活の送りかたや、塩分を体外に排出しにくいといわれる日本人で肥満の人の40%は高血圧なので、塩分摂取量を減らしていけば平常値に近くなるとのこと。また最近、糖尿病で治療が必要であっても景気が悪いので治療を受けられない人も増えているそうです。インフルエンザの注射代は先生のところは安いですなど約100分お話を伺うことができました。福島医大出身の40才間近の先生ですが気さくに話され

我々と同じく現役バリバリだなどの印象を受けました。青年部会員で心身共にお悩みの方は下記まで是非かしの木内科クリニック TEL 551-1411

伊達町岡前20-6(4号線沿いベニマルとい面) 青年部特別割引あり

1 1月18日(火) 税務勉強会

講師(株)本宮会計センター 首藤氏、鎌田氏

場所 組合会議室

「売上・固定費で会社の状況がわかる」という題目での青年部には必ず必要とする勉強会を行いました。決算書より変動費、固定費に区分する表を作り、会社の従業員1人当たりの固定費を求め、初心者向けの内容で最低必要売上高の算出の方法をお話し頂きました。そして各会員の企業で自社の決算書の数値を入力して自社で応用できる様に、計算式の入ったエクセルデータを頂戴しました。会社の従業員に「あなたの1分当たり固定費は 円、1時間当たりの売上目標は 円」と話せるようがんばりましょう。

編集後記 今回の会報からより綺麗に見ただけのように組合ホームページからPDFファイルでダウンロードして見ていただくようになりました、一度ご覧下さい。

福島県鉄工機械工業協同組合 URL [Http://www.tekkou.or.jp](http://www.tekkou.or.jp) Email mail@tekkou.or.jp
〒960-8057 福島市笹木野字南中谷地21-4 TEL 024-558-8011 FAX 024-558-8013